

# ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 137 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2023 年 03 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

## 「早春」の陽差しの下で

### 2月の定例作業日(2/28)は、

朝からカラリと晴れて、風も弱く、「早春」というより、「春本番」のような暖かさでした。

当日は新たな参加者2名を迎え、21名での作業となりました。

林内班13名は、第二駐車場近辺で作業実施。

ゴミ班8名の順路は、東西通り～東京狭山線～桜木神社通り～湿地～霊園通り～中央通り。コース記号は、イ-K-L-1-F-G-O-P' -a-a' -i-ロ-C-U-C-B-L-Kとなります。やはり、リヤカーを持ってゆくと、ゴミを拾う方も気合が入りましたね。東京狭山線沿いには、吹き寄せごみがたくさん。「湿地」は、わづかな湿り気のみでした。



[02/28 集合写真]

まずは、初参加の下安松のキトさん(高3)からの感想です。

『想像よりゴミがたくさん埋まっていた驚きました。所沢の自然を守るためにゴミ拾い頑張

りたいです。』

ついで、同じく初参加の下安松のマドカさん(キトさんのお母さん)からの感想です。

『公園の裏にたくさんの不法投棄があることはしりませんでした。また、ビニールなど自然に還らないものが朽ち果て散らばり広がる様子に環境破壊の実態を見た気がします。小さな力でも続けて行くことで自然への感謝を伝えたいです。』

続いて、ゴミ拾い班の水島さんからの感想です。

『朝はまだ寒さが感じられましたが、時間が経つにつれ気温も上り作業が終わる頃には少し汗ばむほどでした。

ゴミ拾い班は8名、新人は親子の二人で母親と娘さんの参加でした。

お母さんはとても積極的な人で、この活動を友達にも広めたいとの話をされていました。カルチャーパークのボランティア活動が少しでも多くの人に伝えられて参加されることを期待したいですね。

木々を眺めまわしてみると、ほんの少し緑がかってきたかなという感じでした。

今日はリヤカーを引いてのゴミ拾いです。フラワー通りを狭

山線に向かって下っていくと木の根や枝があり、それを乗り越えながら引いて歩くのはけっこう難しいものでした。

何時ものように狭山線に近くなると、ペットボトル、コーヒーの空き缶やゴミくずが散乱していました。

これらを拾い集めて管理事務所までたどり着くと、ゴミ袋はほぼいっぱいになりました。

滞水地に降りてみるとわずかな湿り気がある程度です。

中央にある桜の木をよく見ると薄くやわらかな緑が見えましたがまだまだでした。今月の作業日の28日には桜が咲いている(今年は開花予想が早いので)ことを期待しながら自転車のペダルを踏んで帰路につきました。』

築山・遊具広場の西側にある河津桜は咲いていましたね～。



[02/28 河津桜]

林内班の三浦さんからの報告です。

『最高気温 19 度晴れとこの

季節にしては珍しい高い気温になりそうだ。「今日は暑くなりそうだね」が挨拶代わりに。原っぱ広場の河津桜はほぼ「満開」状態で、いよいよ本格的な春の到来間近だ。この日集まったのは21人、内二人は今日が初参加の母娘、黄色のジャンパーが似合うやる気満々で早々から賑やかな雰囲気だ。

その影響か代表による集合写真撮影はままならず？その動きがまた賑やかさに一層花を添え和気藹々感が盛り上がった。

この日、待望のリヤカーが納入され初デビューとなった。ポデーは30年前のアンテーク調。タイヤは新品というアンバランスなコラボレーション。よく見ると自転車の買い物カゴが二つも取り付けられた特別仕様だ。何でも予算が無いので新品は無理と方々を探しようやく古いリヤカーが手に入り、新品タイヤを購入し自分達で付け替えをした「特別仕様」のリヤカーとなったもの。以前のリヤカーより一回り大きい。2台あれば収集班と林内班それぞれで使用出来るようになるだろう。

準備体操、集合写真、そして班編制は林内班13名、初参加の母娘を含めた8名がゴミ収集と、どちらも人数も潤沢のスタートとなった。

ゴミ収集量はいつも人数に比例するから、今日はさぞかし多くなることが予想される。

いつも思うのは、毎回の活動で拾っても拾っても一向に無く

ならないのは何故？という疑問。決定的な解決策がないまま只ひたすらに拾い集めてきたが、何でこんなところにわざわざ捨てるの？と憤慨することも多かった。不心得な人に怒ってもと半場諦めてきた。こうした思いを和らげる方法はないか。笑われるかも知れないが、ゴミでなく「護美」だと発想の転換を試みたら、響きが違うような気がした。ゴミが無くなるわけではないが拾う側の気持ちが少しは変わるのでは。皆さんはどう思われるのでしょうか。モラル」のなさに腹を立てて行動するより美しい公園を護る為にしていると受け止めることで気持ちにゆとりが生まれるのでは、そのヒントは、市の広報誌「翔びたつ広場」3月号ボランティア募集の表題「所沢の原風景を未来に繋ぐ環境整備」の呼びかけでした一寸痺れました。

前置きが長くなりましたが林内班のことです。今ではルーテインワークとなった伐採枝の運搬、集積地でパッカー車サイズに揃え積む作業、刈り払い機による下刈り、新たな藪の伐採、倒れている大木の玉切りと毎回同じ繰り返しの連続だが、時には同じ作業の繰り返しでも気付かされるのが結構多い。

人それぞれ得手不得手があるように伐採が得意な人、刈り払い機運転が得意と、人ごとに得意分野に向かう傾向があるということ。作業を重ね要領を覚え慣れてくると、自分の体力に応

じた力の加減さもわかり手際が良くなり結果的に捗るということが自覚できるのだろう。だからきつい作業にも拘わらず楽しく作業できるのだろう。

一回の休憩をはさみ11時半には作業を終えた。集積した枝葉類はこれまでにない位の枝葉類、大木の玉切りで山のようになっていた「たかが人力されど人力」結集した底力を今日も感じたこの日の作業でした。』



[2/28 林内作業-1]



[2/28 林内作業-2]



[2/28 梅も満開]



[2/28 ゴミ集約]

~~~~~  
**2月の第二作業日(2/14)、**

この日、深澤は都合により欠席しました。集合写真に続いて**三浦さん**からの報告となります。



[2/14 集合写真]

林内班の**三浦さん**からの報告です。『前日までの予報では快晴、が当日は曇り気温3度に北風が吹きジーンとしていると身体が冷える感じ。集まったのは女子3人、男子9人の合計12名だ。

恒例の準備体操、集合写真、班分けではゴミ収集はなく、12名全員が林内作業となった。作業地は前回に続き第二駐車場隣接地で桜木神社方向に向かう最も距離の長いエリアだ。濃いブッシュ帯で倒木や落下枝も多く、最も見通しも悪い地域でもある。しかもエリアが縦横に長いので枝葉の運搬距離も長くなる一方で、中々思ったように進まない。昨年末まで何とか目処をつける予定だったがどうやら3月一杯はかかりそうだ。それでも各自の負担を少しでも軽くするためいろんなやり方、創意工夫をしながら続けてきたが、相手は自然の森に人力頼みなので思うようにはことは運ばない。当然と言えば当然である

う。一步一步進めながらほぼ7年近くかけてきた成果は衆目も認めるところと自負している。その成果が皆の励みになり充実感となり今日まで続けてきた大きな理由となっているとも思っている。

この日は曇りに北風で体感温度は低かったが、動く程に身体も温まり、汗をかくことを厭わず動く姿は、高齢を厭わない不相应さに凄みを感じさせられた。

作業は前回伐採した枝葉や太幹を最終集積地に運搬することを主に、刈り払い機三台による下刈り、林床に飛び出ている切り株の処理、そしてチェーンソーによる枯れ木、倒木の玉切り、さらに新たな藪の伐採と多岐にわたった。運搬の仕方は、前回伐採し積んであった枝葉類に留め、新たに発生した枝葉は一旦最寄りにまとめておき次回に片付けると言うやり方だ、この2段階方式は意外に効率も良く負担も少ないようだ。

作業地もいよいよ桜木神社通りが目前に迫った。そろそろ集積地を神社側に変更しようと考えている。パッカー車への積み込みに相応しい場所もあるので公園課と相談し決めようと考えている。

この日倉庫には熊手、竹箒、のこの替え刃、長柄の太丸等が届けられていた。

またリヤカーも予算のやりくりで苦ししながらも近々届くと

のこと。市公園課の支援にお礼を申し上げたい。春の訪れを先取りするかのように「河津桜」が咲き始め本格的な春の到来の間近いことをしらせていた。』



[2/14 林内作業-1]



[2/14 林内作業-2]



[2/14 林内のゴミ]

### **3月の作業予定**

定例作業日:3月28日(火)

第二作業日:3月14日(火)

作業時間:9:30~11:30

\* 作業内容:

ごみ拾い・林内作業

\* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、飲み物、念のため、保険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで  
[090-8014-3310]連絡下さい。

## 応援隊 総会的意見交換会のお知らせ

日時:3月31日 10時~12時

場所:生涯学習推進センター

102会議室

\* 意見交換会実施日は、現地作業は行いません。

## 4月以降の作業予定日

-以下、新年度の仮日程-

4/11(火)、4/25(火:定例)、

5/11(木)、5/30(火:定例)、

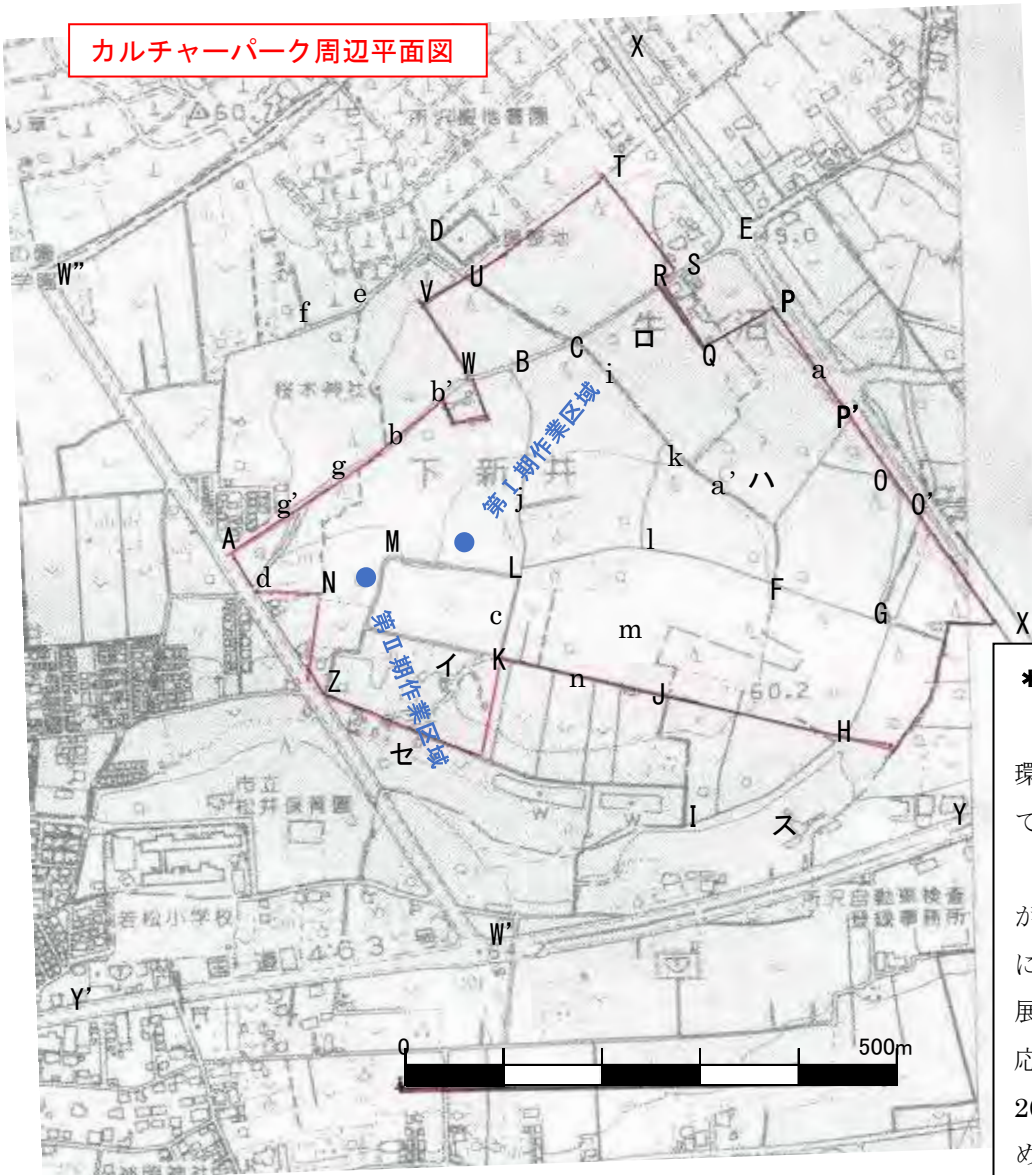
### 新型コロナの予防措置として、 以下を基本とします。

- ・ 間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・ マスク着用:各自の判断とします。
- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。  
なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。
- ・ 定例作業日の食事会については再開の方向で検討します。

### 新型コロナ発生時の対応策

- ① 毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成し、代表が保管する。
- ② 次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)  
イ. 症状があり、検査を受けた時。  
ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示
- ③ 陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。  
(不要となるかも)

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

|                          |           |                  |
|--------------------------|-----------|------------------|
| 地点名                      | イ         | 現在のデイキャンプ場       |
|                          | ロ         | 湿地               |
|                          | ハ         | 現在のサッカー場         |
|                          | セ         | 特養、グループホーム       |
|                          | ス         | 産廃               |
|                          | E         | 交差点「開発」          |
|                          | W'        | 交差点「牛沼」          |
| 通り名                      | X-E-X'    | 県道東京狭山線          |
|                          | W'' -A-W' | 市道 カルチャーパーク通り    |
|                          | Y-W' -Y'  | 国道               |
| 園内通り名<br>(仮称の<br>たたき台です) | A-B-C-E   | 桜木神社通り           |
|                          | D-C       | 霊園通り             |
|                          | C-F       | サッカー場通り          |
|                          | B-L-K     | 中央通り             |
|                          | L-F-G     | 東西通り(L-F:フラワー通り) |
|                          | G-H       | 東通り              |
|                          | K-J-I     | 農道               |
|                          | I-H       | 産廃裏通り            |

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。  
皆さんからの御意見をお寄せください。

### \*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

### 定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広げています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

**追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。**

### \*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。